

## 様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

### 認定事業適応計画の概要の公表

#### 1. 認定の日付

令和3年12月24日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社アルファパーチェス

#### 3. 認定事業適応計画の内容

##### (1) 事業適応に係る事業の目標

株式会社アルファパーチェスは、各企業で使われる事務消耗品・事務備品等をはじめとしたロングテール（多品種少量）の間接材について、当該間接材調達企業と商品提供サプライヤとを同社を介してネットワークで接続し、取引の電子化を進めることによって、円滑に商品購入見積から発注－受注、出荷－受け入れ、請求－支払の円滑化を図り、流通の変革を目指している。データやデジタル技術の活用を通じて、同社、顧客（間接材調達企業）、サプライヤ、物流事業者等と連携し、B to B型デジタル取引プラットフォームを活用したサプライチェーン全体の革新をさらに進め、より一層関係者間での調達プロセスの効率化、コスト削減等を目指す。

##### (2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

生産性向上指標の目標は、計画終了年度である2023年12月期において、2015年度から2019年度におけるROAの平均値と比較し、1.74%ポイントの向上を目指す。

##### (3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

令和5年（2023年度）において、有利子負債はキャッシュフローのマイナス1.9倍、経常収支比率は103.9%となる予定。

##### (4) 事業適応の類型

情報技術事業適応

##### (5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

各種商品卸売業（中分類50）

##### (6) 事業適応の具体的内容

これまで、デジタル化が遅れていたために非効率であった事務消耗品・事務備品等をはじめとしたロングテール（多品種少量）の間接材について、これまで同社が提供しているMR O※

領域の基幹システム（A PMRO）等をクラウドでの維持・運用に変更するとともに、顧客利便性の向上のため、お客様(大企業グループの多数の拠点)、多数のサプライヤ等と、商材、価格、数量、在庫、納期、納場等のデータを連携し、ロングテール物品のみならず高額物品や役務も含めた商取引をクラウド上で成立させるとともに、請求・支払依頼処理まで一括して行う。これにより、取引の円滑化・迅速化が図られるだけでなく、結果として、各者により一層の調達プロセスの効率化、コスト削減といった利益をもたらすことを可能とする。加えて、取引情報等のビッグデータ分析を通じた適切な取引先レコメンデーション等にもつなげていく。同社においては、取扱い商材の拡大及び商材に付随する在庫や納期等の情報充実による売上拡大、サプライヤポータル等の情報系サービス強化を通じた問合せ対応抑制等による販管費の削減・運用効率化が実現する。

※Maintenance Repair and Operations の略。間接材とも称する。企業が業務で使用し通常、経費で購入する備品・消耗品（文具、オフィス備品、設備や機器の修理用部材など）の総称。

これらの取組により、計画最終年度である 2023 年 12 月期における売上高販管費比率を 2020 年 12 月期と比較して、12%削減することを目指す。

- ・産業競争力強化法第 21 条の 28 第 2 項の規定に基づく生産性の向上又は需要の開拓に特に資するものとして主務大臣が定める基準への適合：有
- ・産業競争力の強化に著しく資するものとして経済産業大臣が定める基準への適合：有

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期： 令和 3 年（2021 年）12 月

終了時期： 令和 5 年（2023 年）12 月